



群馬県庁
写真提供：前橋観光コンベンション協会

前橋データラボ

ヒト編

数字でめぐる前橋 2026年 秋号

仕事と求人、賃金、働き手、通勤、企業、安全。
前橋で働くことを、公的な統計でやさしく読む一冊です。

数字にはすべて、年（時点）と対象（前橋市・群馬県・全国など）を添えています。
働く人の統計は、県や全国までしか取れないものも多くあります。

仕事と求人

賃金

働き手

通勤

企業

安全

前橋で働くことを3つの数字で

ヒト編では、前橋で働くことを6つの分野に分けて見ます。まずは、特徴がよく出ている3つの数字からです。前橋市の数字が取れないものは、群馬県や全国の値を使います。

61.5%

通勤30分未満の人の割合（前橋市・2023年）

全国の50.4%を11.1ポイント上回ります。通勤の短さは、前橋で働くことの特徴の1つです。

通勤 → p06

29.3%

20～24歳の非正規の割合（前橋市・2022年）

全国の40.4%を11.1ポイント下回ります。それでも20～24歳は、出ていく人のほうが多い年代です。

働き手 → p05

1.43倍

高崎の求人数は前橋の何倍か（2025年）

仕事を探す人の数は高崎とほぼ同じですが、求人数は高崎が前橋の約1.43倍あります。

仕事と求人 → p03



前橋市中央児童遊園地るなばあく 写真提供：前橋観光コンベンション協会

もっと知りたい人へ（元記事）

前橋市のテレワークは全国の6割

maebashi-data.com/hito/hatarakikata/

前橋市の20代の非正規は29.3%

maebashi-data.com/hito/wakamono/

前橋の有効求人倍率

maebashi-data.com/hito/jobs/

出典：総務省「令和5年住宅・土地統計調査」「令和4年就業構造基本調査」、群馬労働局「労働市場月報」。

前橋に、仕事はたくさんある？

前橋の有効求人倍率は、1年を通して群馬県の平均を下回りました。仕事を探す人の数は高崎とほぼ同じで、違うのは求人の数です。前橋で多いのは、農業や教育、公務、医療・福祉の仕事です。

有効求人倍率（最低～最高）

1.08～1.34 倍

前橋・2025年・12か月すべて県平均未満

情報通信業の特化係数

0.532

前橋市・2020年・全国＝1.0

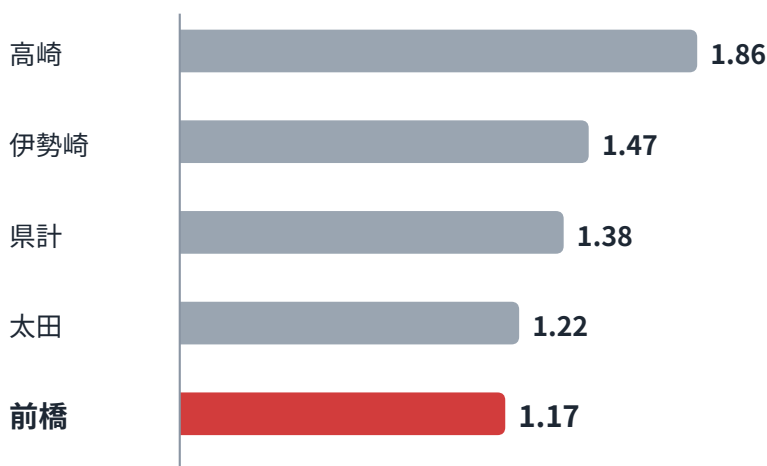
外国人就業者のうち製造業

56.8 %

群馬県・2020年・全体は23.2%

12月も、前橋は県の平均を下回る

ハローワーク（公共職業安定所）別の有効求人倍率（2025年12月、単位：倍）



イラスト：求人票と虫めがね

+ 前橋の強み

- ・新規求人のうち人が決まった割合は前橋10.3～22.1%で、高崎の7.3～12.5%より高くなっています（2025年）。
- ・全国と比べて厚いのは農業1.273、教育1.220、公務1.178、医療・福祉1.175。地域に必要とされる仕事です（前橋市、2020年）。

! 気になる点

- ・有効求人倍率は、2025年の12か月すべてで群馬県の平均を下回りました（前橋）。
- ・情報通信業の求人は、2023年から2025年の2年で30.3%減りました。高崎は6.0%減です（前橋）。

ことば：有効求人倍率＝仕事を探す人1人に対して、求人がいくつあるか。特化係数＝前橋での割合÷全国での割合（1.0より大きいと全国より多い）。

もっと知りたい人へ（元記事）

前橋の有効求人倍率

maebashi-data.com/hito/jobs/

前橋市の情報通信業は全国の半分

maebashi-data.com/hito/sangyo/

群馬の外国人就業者の56.8%が製造業

maebashi-data.com/hito/gaikokujin/

出典：群馬労働局「労働市場月報」、総務省「令和2年国勢調査」ほか。グラフは前橋データラボが公表値から作成。

群馬で働くと、いくらもらえる？

賃金の統計は群馬県までで、前橋市だけの値はありません。群馬の年収は東京より低く、年齢とともに差が開きます。働く時間は全国より少し長く、その多くは出勤日の多さから来ています。

一般労働者の平均年収

494.5万円

群馬県・2025年・東京都は678.0万円

1か月の総実労働時間

137.6時間

群馬県・2025年平均・全国は135.1時間

退職給付の制度がある企業

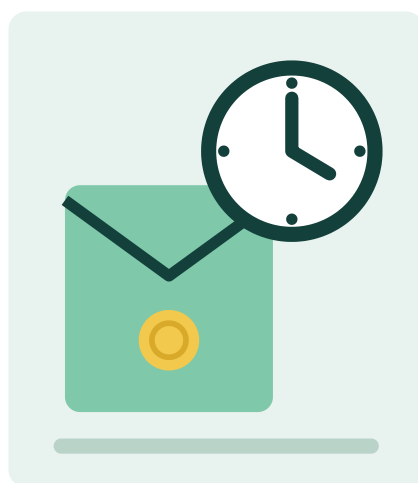
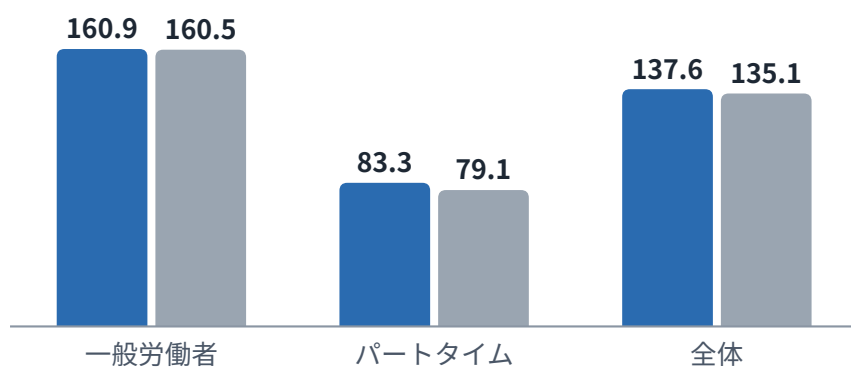
74.9%

全国・令和5年調査

一般労働者の労働時間は、全国とほぼ同じ

1か月の総実労働時間（群馬県と全国、2025年平均、単位：時間）

■ 群馬県 ■ 全国



イラスト：給与袋と時計

+ 前橋の強み

- ・20～24歳の年収は群馬359.6万円、東京388.2万円で、差は28.6万円にとどまります（2025年）。
- ・時間当たりの賃金は、47都道府県で22位と中央値より上にあります（群馬県、2025年）。

! 気になる点

- ・時間当たりの賃金は2,361円で、全国の2,635円より10.4%低くなっています（群馬県、2025年）。
- ・退職給付の制度がある企業は、1,000人以上で90.1%、30～99人で70.1%。規模で20.0ポイントの差があります（全国、令和5年調査）。

ことば：一般労働者＝パートタイム労働者を除いた働く人。総実労働時間＝決まった時間と残業を合わせた時間。退職給付＝退職金（一時金・年金）。

もっと知りたい人へ（元記事）

群馬県の平均年収は494.5万円

maebashi-data.com/hito/wage/

群馬の労働時間は月137.6時間

maebashi-data.com/hito/roudoujikan/

群馬の労働時間の差、4割はパート比率で説明できる

maebashi-data.com/hito/shugyokeitai/

退職金がある会社の割合は74.9%

maebashi-data.com/hito/taishoku/

前橋では、だれが働いている？

前橋市では、20代前半は男女とも同じくらい働いています。差が開くのは30代で、出産や子育ての時期と重なります。65歳を過ぎても働く人は多いものの、その多くは非正規です。

30～34歳の労働力率の男女差

17.20 ポイント

前橋市・2020年

65～69歳男性の労働力率

62.73 %

前橋市・2020年・全国は63.48%

20～24歳の非正規の割合

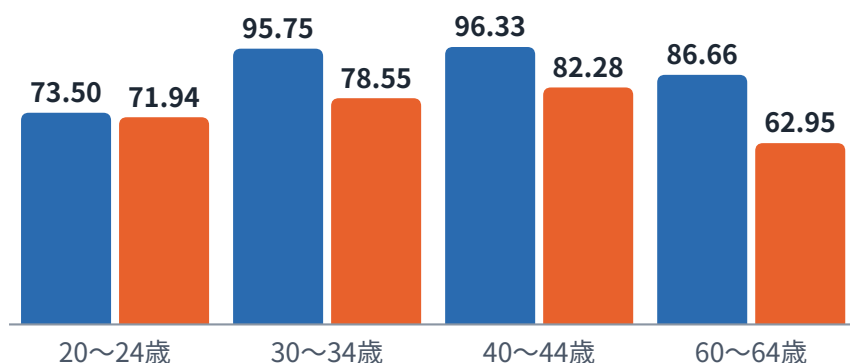
29.3 %

前橋市・2022年・全国は40.4%

男女の差は、30代で開く

年齢別の労働力率（前橋市、2020年、単位：%）

■ 男性 ■ 女性



イラスト：働く人たち

+ 前橋の強み

- ・ 30～34歳の女性の労働力率は78.55%。2000年の56.76%から20年で21.79ポイント上がりました（前橋市）。
- ・ 20～24歳の非正規の割合は29.3%で、全国の40.4%を11.1ポイント下回ります（前橋市、2022年）。

! 気になる点

- ・ 65歳以上の男性の非正規の割合は69.7%で、全年齢の20.1%から49.6ポイント上がります（前橋市）。
- ・ 女性の非正規の割合は49.8%で、男性の20.1%との差は29.7ポイントです（前橋市）。

ことば：労働力率＝その年齢の人口のうち、働いている人と仕事を探している人の割合。非正規＝パート・アルバイト・派遣・契約社員など。

もっと知りたい人へ（元記事）

前橋市の男女の労働力率は30代で
17.2pt開く

maebashi-data.com/hito/josei/

前橋市の65～69歳は男性62.7%
が働く

maebashi-data.com/hito/koreisha/

前橋市の20代の非正規は29.3%

maebashi-data.com/hito/wakamono/

出典：総務省「令和2年国勢調査」「令和4年就業構造基本調査」。グラフは前橋データラボが公表値から作成。

前橋の通勤は、短い？

前橋市では、61.5%の人が30分かからずに職場に着きます。通勤の短さは全国と比べてはっきりした特徴です。一方で、家で働くテレワークは全国より少なくなっています。

通勤30分未満の人の割合

61.5%

前橋市・2023年・全国は50.4%

テレワークの実施率

11.4%

前橋市・2022年・全国は18.9%

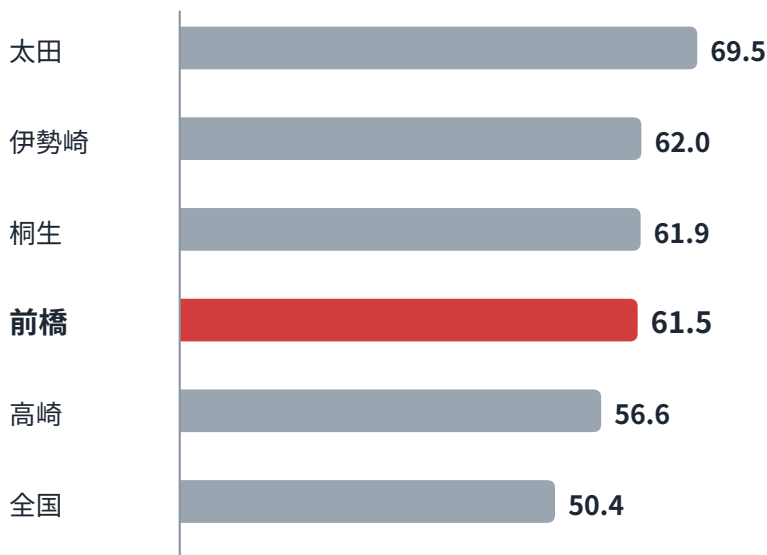
副業のある人の割合

5.48%

前橋市・2022年・全国は4.95%

通勤30分未満の割合は、全国より11.1ポイント多い

通勤時間が30分未満の割合（県内5市と全国、2023年、単位：%）



群馬県庁 昭和庁舎

写真提供：前橋観光コンベンション協会

+ 前橋の強み

- ・通勤30分未満は61.5%で、全国の50.4%より11.1ポイント多くなっています（前橋市、2023年）。
- ・副業のある人は5.48%で、全国の4.95%を上回ります（前橋市、2022年）。

! 気になる点

- ・テレワークの実施率は11.4%で、全国の18.9%の0.60倍です（前橋市、2022年）。
- ・テレワークをしても、頻度20%未満の人が7割を占めます（前橋市）。

ことば：テレワーク＝自宅など、職場以外で働くこと。通勤時間は、家計を主に支える人が雇われて働いている世帯の値。

もっと知りたい人へ（元記事）

前橋市のテレワークは全国の6割

maebashi-data.com
/hito/hatarakikata/

出典：総務省「令和5年住宅・土地統計調査」「令和4年就業構造基本調査」。グラフは前橋データラボが公表値から作成。

前橋の事業所は、増えている？

前橋市の事業所は、5年で少し減りました。やめる事業所が多いのではなく、新しくできる事業所が少ないためです。大きな事業所は数が少ないものの、そこで働く人は3割近くいます。

事業所の数

14,913

前橋市・2021年・5年で5.5%減

新設率（5年間）

20.9%

前橋市・2016～2021年・全国は23.3%

従業員100人以上の事業所

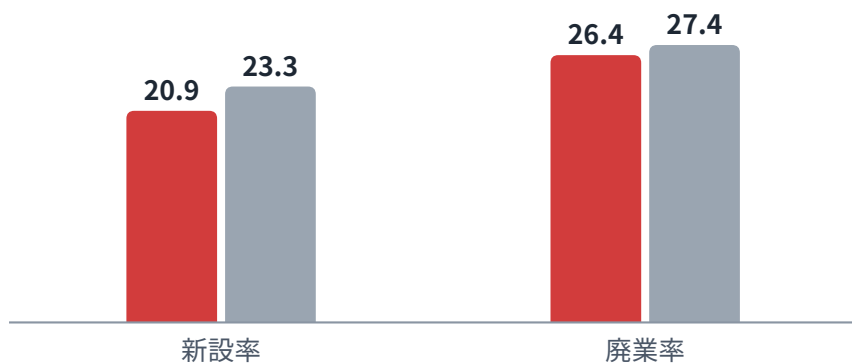
188所

前橋市・2021年・従業員の28.7%

新設も廃業も、全国より少ない

事業所の新設率と廃業率（前橋と全国、2016～2021年の5年間、単位：%）

■ 前橋 ■ 全国



イラスト：事業所の並ぶまち

+ 前橋の強み

- ・廃業率は26.4%で、全国の27.4%より低くなっています（前橋市、2016～2021年）。
- ・事業所の規模の分布は、全国とほぼ同じです（前橋市、2021年）。

! 気になる点

- ・新設率は20.9%で、全国の23.3%を2.4ポイント下回ります（前橋市、2016～2021年）。
- ・事業所の数は14,913で、5年で5.5%減りました（前橋市、2021年）。

ことば：新設率・廃業率＝5年間に新しくできた（やめた）事業所の、5年前の事業所数に対する割合（年率ではない）。事業所＝店・事務所・工場など、働く場所の単位。

もっと知りたい人へ（元記事）

前橋市の事業所は新設が少ない

maebashi-data.com/hito/jigyosho/

出典：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」。グラフは前橋データラボが公表値から作成。

群馬の職場は、安全？

労働災害の統計は群馬県までで、前橋市だけの値はありません。けがの起きる割合を示す度数率は、全国より低くなっています。ところが労災保険の給付は、全国より多いという逆の結果です。

労働災害の度数率

1.68

群馬県・2023年・全国は2.14

労災保険の給付（1,000人当たり）

72.7 件

群馬県・2023年・全国は65.0件

1か月の出勤日数

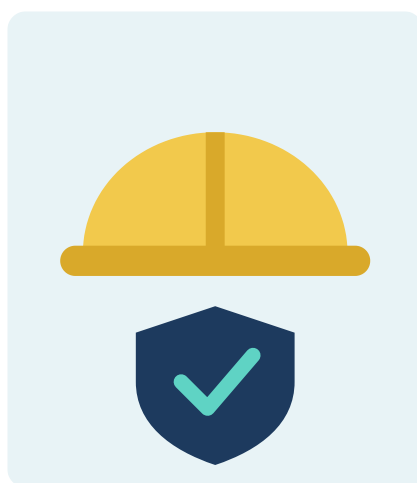
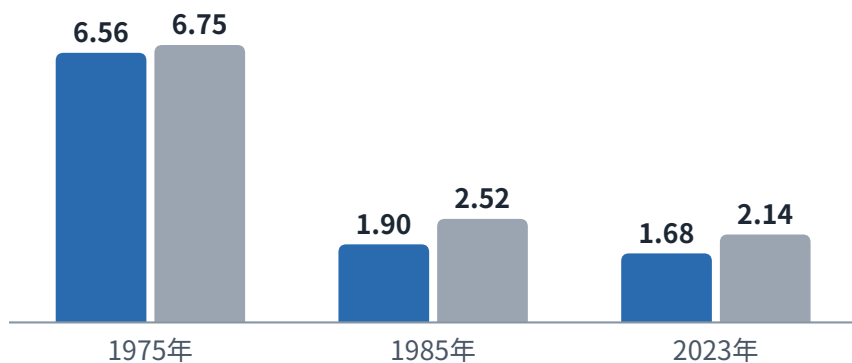
17.7 日

群馬県・2025年平均・全国は17.4日

度数率は、1975年から74.4%下がった

労働災害の度数率（群馬県と全国）

■ 群馬県 ■ 全国



イラスト：ヘルメットと盾

+ 前橋の強み

- ・度数率は1975年の6.56から2023年の1.68へ74.4%下がり、47都道府県で37位（少ない側）です（群馬県）。
- ・群馬の度数率が全国を上回ったのは、6時点のうち2005年だけです。

! 気になる点

- ・労災保険の給付件数は労働者1,000人当たり72.7件で、全国の65.0件より11.8%多くなっています（群馬県、2023年）。
- ・度数率の調査は事業所規模100人以上が対象で、小さな事業所の事故は含まれません。

ことば：度数率＝働いた時間100万時間当たりの、労働災害で死傷した人の数。労災保険の給付は、規模を問わずすべての事業場が対象。

もっと知りたい人へ（元記事）

群馬の労働災害度数率1.68で全国37位

maebashi-data.com/hito/roudosaigai/

群馬の労働時間は月137.6時間

maebashi-data.com/hito/roudoujikan/

出典：総務省「社会・人口統計体系」（労働災害動向調査・労災保険）、厚生労働省「毎月勤労統計調査」。グラフは前橋データラボが公表値から作成。

強みと、気になる点を並べると

6つの分野の「強み」と「気になる点」を、1つずつ並べました。前橋市の数字と、群馬県・全国の数字が混ざっているので、対象は各ページで確かめてください。

+ 前橋の強み

! 気になる点

仕事と求人

→ p03

新規求人の充足の割合は高崎より高い
(2025年)

有効求人倍率は12か月すべて県平均を下回る (2025年)

賃金

→ p04

20～24歳の東京との年収差は28.6万円 (2025年)

時間当たりの賃金は全国より10.4%低い (群馬県・2025年)

働き手

→ p05

20～24歳の非正規29.3%は全国40.4%より低い (2022年)

30～34歳で男女の労働力率が17.20ポイント開く (2020年)

通勤

→ p06

通勤30分未満が61.5% (全国50.4%、2023年)

テレワークの実施率は全国の0.60倍 (2022年)

企業

→ p07

廃業率26.4%は全国27.4%より低い (2016～2021年)

新設率20.9%は全国23.3%を下回る (2016～2021年)

安全

→ p08

労働災害の度数率1.68は全国2.14より低い (群馬県・2023年)

労災保険の給付は全国より11.8%多い (群馬県・2023年)

数字は、どれも公開中の記事の本文にある値です。1つの数字だけでまちの良し悪しは決まりません。気になった数字があれば、元の記事でグラフや比べ方を確かめてみてください。

数字でめぐる前橋 ヒト編 2026年 秋号

このサイトについて

前橋データラボ（maebashi-data.com）は、前橋の人口・仕事・お金・まちを、公的な統計で読み解くサイトです。「地域創生を、印象論ではなく数字で。」を掲げています。

出典と数字の考え方

- ・数字は、2026年9月時点で公開中の記事本文の値だけを使っています。記事が更新されると、数字が変わることがあります。
- ・賃金・労働時間・労働災害など、前橋市の値が取れない統計は、群馬県や全国の値を使い、その旨を書いています。
- ・個別の企業の推奨や評価をするものではありません。

使うときは

この冊子の文章・図表は、出典（前橋データラボ「数字でめぐる前橋」）を明記すれば自由に使えます（CC BY 4.0）。写真は前橋観光コンベンション協会の提供で、CC BY 4.0 の対象外です。

シリーズ（四半期ごとに発行）

総合版

ヒト編

モノ編

カネ編

情報編

記事はすべてウェブで読めます

maebashi-data.com



みやぎ千本桜の森公園

写真提供：前橋観光コンベンション協会